



# 「鶴岡市子どもプラン」の策定

## 市児童福祉審親自身が笑顔になれる生活が必要

令和6年度第1回鶴岡市児童福祉審議会が7日開かれ、委員長に増田康平氏（社会福祉法人思恩会）、副委員長に齋藤功氏（鶴岡市民間保育園協議会）が選出されました。

令和7年度は、小堅保育園、くしびき東部保育園、くしびき南部保育園が、利用児童数の減のため廃止となり、在園児は全て、他園で受け入れを行うこととなっています。

児童数の減で3園が廃止に

たがわこども園は、保育所から幼保連携型認定こども園となり、利用定員を30人から45人に増員となります

令和6年度における利用定員は、利用児童数の減により、湯田川保育園が50人から40人に変更になりました

（1号0人から15人に  
・2号17人から15人に  
・3号13人から15人

（2号29人から22人に

令和6年度鶴岡市こども会議は、市内小・中学生8人が4日間の日程で、「こども達が気軽に集う事ができる、理想の居場所を考えよう」をテーマに行われました。

## 大林組、鶴寿祭、鹿児島市盟約55周年

▽11月2日、県建築士会鶴岡田川支部主催の「大林組の見える今、そして未来」と題した講演会を聴講。従業員1万7千人、売上高1兆3千億円の世界的企業の副社長のご両親が鶴岡市（旧町村）出身という縁。同氏が1985年に入社して以来の日本と世界の建築業界・世界経済の動向と同社の歩み、同社が今、再エネを始めとする新分野の事業に世界的に乗り出している事等々、グローバルなお話しは興味深く、啓発されるどころ大。同時に、大企業の利益追求と地域経済の相克が今後も深まるということも認識を新たにす。

▽3日、山形大学農学部学園祭「鶴寿祭」を見学。野菜・果物販売コーナーで、宝谷の赤カブと大網の有機栽培さつまいも紅はるかを購入。カブ生産農家は学部卒業生、紅はるかは学生さんの実家から。

▽7日、鹿児島市・鶴岡市兄弟都市盟約55周年記念式典に出席。戊辰戦争で戦火を交えた庄内藩に寛大な処分が下されたことを西郷隆盛の指導であるとして生まれた、西郷を尊崇する気風が昭和44年の盟約締結に繋がりました。両藩の関係や明治維新の中での西郷の役割等は歴史学の分野で研究されていますが、両市の縁は維新の激動の中の情趣ある物語と想います。

式典の後の交流会は、両市民の相互理解の深まりが実感される、暖かい、楽しいものでした。

市議会では鹿児島市を視察し、鶴岡2中と兄弟校である武中学校で歓迎を受け、西郷自刃の地等も訪問して、感慨を覚えた18年前を思い出しました。

（県議 関 徹）

市第5学区放課後児童クラブの改築では、管理運営を公設民営でおこなうこととし、指定管理には「特定非営利法人にじいるcase」が選出されたことが報告されました。

市第5学区放課後児童クラブの改築では、管理運営を公設民営でおこなうこととし、指定管理には「特定非営利法人にじいるcase」が選出されたことが報告されました。

「市こどもプラン」策定へ

続いて、令和7年度から5年間を計画期間とする「こども計画」と、「第3期子ども子育て支援事業計画」

を一体的に行う「鶴岡市こどもプラン」の策定に向けた協議が行われました。



を一体的に行う「鶴岡市こどもプラン」の策定に向けた協議が行われました。

基本理念に「こどもの笑顔があふれるまちをつるおか」とし、基本目標に「こどもの可能性が伸びる環境づくり」、「こどもの健やかな成長を支援する環境づくり」を掲げ、今後実施に向けた施策と事業を検討していくこととしています。

子育て期は休みやすい環境を

委員から、「こどもの笑顔が本当に作れるのは、親自身が笑顔になれる生活をしていてこそ出来るもの。そのために子育て期は職場で休みやすい環境を作ってほしい」

「こども家庭支援センターの拡充では、スクールソーシャルワーカーや、幼児教育アドバイザー等、専門家の確保が必要」

「こどもを囲むすべての連携（福祉・教育も含め）が重要となってくる」

「こども会議は継続的におこなってほしい」

「素晴らしい事が掲げられているが、一番大切なのはソフト面を頑張ってほしい」との意見がありました。

坂本昌栄議員が傍聴しました。

# 夜間の街路灯や大雨時の排水対策を要望

## 大山工業団地連携協議会・意見交換会

昨年12月に発足した

した。

大山工業団地連携協議会(恩田健次会長)の初めでの意見交換会が、10月31日行われまし

た。関係する大山自治会、市商工課、開発公社、金融機関、県議、市議らも参加しまし

た。恩田会長から、協議会の発足と活動経過が報告されました。

現在、団地内19社のうち12社が会員となっており、管理に必要な環境整備と共同事業などを目的に、情報交換などを行っていることが報告され、会員各社から自己紹介がありま

未分譲残り3.5ha

市商工課からは、市の産業振興施策と産業団地の状況について報告がありました。

昨年から今年にかけて、運輸会社の車両整備工場や倉庫などの新設が進み、大山工業団地内の用地23.5haのうち、未分譲面積は6.4ha、そのうち協議中約2.9haを除くと、残りの面積は約3.5haになっているとのこと

道路環境は緊急性が高い

団地内の環境整備の

課題として、道路の安全管理については夜間の街路灯と、T字路の停止線や標示・標識、さらに大雨時の排水対策や除雪対応などの具体的な状況が示され、対策を求める要望が出されました。

また今後の工業団地と地域活性化に向け、羽前大山駅の利用拡大と交通アクセスの課題の克服や、団地内での清掃活動、イベント開催などが話し合われているとのこと

意見交換では、参加した菅井巖議員は、「団地内の道路環境の課題

## 致道博物館主催の

## ワッパ騒動150年特別展

ワッパ騒動150年

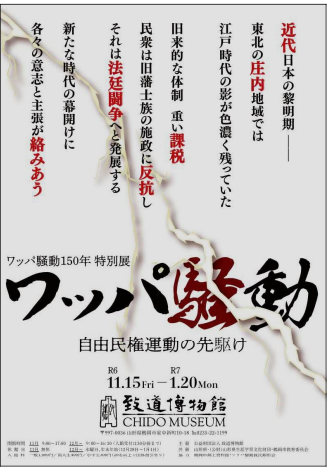
(12月28日～1月4日)

特別展として、致道博物館主催による『ワッパ騒動』自由民権運動の先駆け』が、同館美術展覧会場で開催されます。

【会期】令和6年11月15日(金)～令和7年1月20日(月)

【開館時間】

11月午前9時～午後5時、12月～午前9時～午後4時30分  
休館日：11月無休、12月は水曜日、年末年始



自由民権運動の先駆け  
11.15 Fri - 1.20 Mon  
致道博物館 CHIDO MUSEUM  
鶴岡市教育委員会

【イベント】  
●11月30日(土)14時～15時 学芸員によるギャラリ

●12月22日(日)14時～16時  
講演会②  
松平親懐と菅実秀からみたワッパ騒動  
講師：門松秀樹氏(東北公益文科大学 教授)

土木課入札結果 ( ) 内は予定価格	11月7日入札分
・令和6年災第9203号市道屋敷田線道路災害復旧工事(大網地内)(入札2業者) 斎藤建設(株)2,080,000円(2,200,000円) 工期~7/6/20(落札率94.55%)	
建築課入札結果 ( ) 内は予定価格	11月7日入札分
・令和6年度湯野浜海岸公衆便所洋式化工事(湯野浜字浜泉野浜海水浴場内)(入札3業者うち1業者無効) (株)瀬尾工務店6,280,000円(6,630,000円) 工期~7/3/7(落札率94.72%)	

はどれも緊急性が高く、市でも現状確認が必要」、「大山駅の利用拡大は重要であり、交通アクセス整備も含め、自動車社会の根本

的な課題を考える必要がある」と述べました。(大山工業団地連携協議会会報第1号2024年3月)

会報の発行にあたって  
設立総会・発足式  
第1理事会について  
鶴岡市議会・市民意見交換会

## 「将来子どもを持ちたいと思えない」など不安も

高校生と市議会議員が意見交換

鶴岡中央高校普通科3年の生徒と、市議会議員との意見交換会が7日行われ、党市議団から坂本昌栄、長谷川剛両市議が参加しました。

子育て、若者の政治参加、SDGsなど9つのテーマで、各班に分かれて進めました。長谷川議員は、「多様性を認め合う社会、誰もが自分らしさを発揮できる社会」というテーマで意見交換。

生徒が事前に調べたパートナーシップ制度の導入状況や、外国人の医療・介護などの質問を受けました。その後、市に望む

「就職で帰ってきたいとも思うけど、希望する職種がない」、「高校生のたまり場が欲しい」など、多くの願いが出されました。

「学費が高くて不安。親も大変そう。将来子どもを持ちたいと思えない」、「バス通学の定期代が高い」、

「就職で帰ってきたいとも思うけど、希望する職種がない」、「高校生のたまり場が欲しい」など、多くの願いが出されました。

その後、市に望む

生徒が事前に調べたパートナーシップ制度の導入状況や、外国人の医療・介護などの質問を受けました。

その後、市に望む

生徒が事前に調べたパートナーシップ制度の導入状況や、外国人の医療・介護などの質問を受けました。